

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和2年10月19日（月）9：58～11：32

場 所：日出生活館

出席者：11人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料1参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料2参照）

・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料2-1参照）

・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料2-2参照）

・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料2-3参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町長：診療科の数など、どう思うか。産婦人科などはなく、医師の確保が難しい。新設は難しい。

また、整形外科は午後も診察してほしいといった意見もある

町民：内科の診療科目の中に、呼吸器内科が入っていないような気がする。札幌市内の呼吸器科病院がクラスターになり、通院できなくなったことから、栗山赤十字病院の内科で診察してもらっている。地元で呼吸器を見てもらえる体制をとってもらいたい。

町長：これから、栗山赤十字病院とも協議して進めていきたい。

町民：栗山駅十字病院の後ろに建て替えができるような面積はあるのか。

町長：建築面積7200㎡を建てるスペースは十分確保できる。

町民：栗山赤十字病院の後ろには看護師の寮があると思うが。

町長：寮の建物はありますが、現在は使用していない。平成 17 年に人工透析病棟を増築しているので、その建物も活用したい。救急などで国道に出やすい立地でもあり、利便性もある。建設場所については、いろいろな意見もある。現地建て替えしか選択肢がないということではなく、検討していきたい。ただ、現時点では、6 億円の解体費用を捻出することができないので、現地建て替えを基本として検討している。

町民：栗山赤十字病院から薬局へ行くのに道路を横断しないといけない。同一敷地に薬局を作ることはできないか。交通安全の面でもそのような配置にしてほしい。

町長：薬局については、持ち帰り検討したい。今は 3 件薬局があるが、そうすると移転しなければならない。

町民：他の会場からも薬局の場所について意見は出ていないのか。

町長：懇談会は、まだ 4 会場目なので、そういった話は出ていない。栗山赤十字病院が存続してもらえてよかったといった声は出ている。

町民：耳鼻咽喉科、皮膚科などがあるが、出張医が来るのか。

町長：耳鼻咽喉科は、出張医が来て常勤医師ではない。同じ医師が出張医として来る。

町民：耳鼻咽喉科も皮膚科もアレルギーに起因した受診が多い。診療科に違いはあっても共通する部分も多いので、出張医と常勤医で情報共有などをお願いしたい。

町長：各医療機関や医師同士の連携は図っていききたい。

町民：診療科は 12 以上に増やす予定はないのか。

町長：診療科目の数は検討していく項目ではあるが、新たに設置するのは難しい。

町民：子育て世代の若い人を守るためにも小児科は必要なのではないか。

町長：町内に若い移住者が 50 人くらい入ってきている。小児科は、個人病院などで対応できる体制をとっているが、栗山赤十字病院の診療科目に小児科を入れることは現時点では考えていない。個人病院がなくなれば、小児科も検討しなければならない。

町民：診察の待ち時間が長いとよく聞くので、そのあたりをどうにかしてほしい。昔は、病院内に薬局があったが、院内で薬を受け取れるようにできないか。

日赤改築室長：昔は、院内で薬を処方していたが、薬の処方と（医師）と調剤（薬剤師）を分ける制度改正があり、今の体制に至っている。民間の薬局が基本だが、制度が緩和されて、病院敷地内に薬局を建てるのが可能になった。ただ、建物内に薬局を置くのは難しい。

町民：岩見沢市立病院は、会計の横で薬を出している。

日赤改築室長：おそらく診察の時に、医師が院内処方提供している薬ではないか。処方箋が必要な薬は院内では出せないの、診察内容によっても違ってくると思う。岩見沢市立病院も敷地外に薬局はある。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：日出消防庁舎の解体をしているのだが、解体後更地になったあとは、どのような活用を考えているのか。

建設総括：解体後の活用方法について、整地して終了予定だったが、駐車場として必要というのであれば検討したい。

町民：できれば跡地は使ってほしくない。冬場の除雪などの面もあるが、日出生活館側の駐車場ですりているのであれば、跡地はそのままでもいい。

町民：日出生活館の建て替えは計画されているのか。

町長：来年以降しっかり計画していきたいと思う。いつ建て替えるというものは決まっていない。

町民：日出生活館は、使用頻度の高い集会場なので無くさないでほしい。

町民：光回線は、角田炭鉱線など、奥の家も少ない。そのような場所にも光回線を引っ張っていくのは難しいのではないか。

町長：光回線は町内全区域に広げる。教育などにもぜひ活用してもらいたい。光回線の契約数 170 件は絶対条件ではない。

町民：光回線は全体で 95% が契約しているのか。

副町長：町全域のうち南部地域は、まだ光回線が整備されていない。光回線整備エリアが 95% であって光回線契約率のことではない。契約数 170 件についても、契約者数の目標値であって、未加入者の数ではない。

町民：環境政策課生活安全グループの方から、旧二股駅の一灯式信号機を使用しないのであれば撤去したいという話があった。バス停前に付いている信号機ということもあり、日出の住民はあの信号機を利用している。また、交通量の面からも信号なしで道路を横断するのは危ない。信号機を撤去してしまうと、車のスピードが減速しないので、日出住民の安全を守るためにも信号機は撤去しないでほしい。

町長：担当に確認をしたい。

町長：日赤改築準備室長から、皆さんに情報提供したい。

日赤改築室長：栗山駅十字病院のコロナ検査について、11 月 9 日から、発熱外来が運用開始になる。電話での予約受診になる。検査体制も整備される。抗原検査も受けられる。11 月号の広報にも情報が掲載される。

町民：自己負担額は、だいたいいくらかかるのか。

日赤改築室長：自己負担額 2 万円かかる。濃厚接触者などで検査が必要であると判断されれば保険の適用になる。

町長：持続化給付金の問題など、多くの事業を今後行っていく。農協などを通じて説明していく。水道料金の支援などをさせていただくので、ぜひ申請していただきたい。

11 : 32 終了